令和6年第5回
笠間市農業委員会総会会議録

令和6年5月28日 開会
令和6年5月28日 閉会

笠間市農業委員会

令和6年笠間市農業委員会第5回定例総会

[令和6年5月28日]

-
- 日程第1 議事録署名人の指名
日程第2 会期の決定
日程第3 議案第1号 農地法第3条の規定による許可申請について
日程第4 議案第2号 農地法第4条の規定による許可申請について
日程第5 議案第3号 農地法第5条の規定による許可申請について
日程第6 議案第4号 非農地証明願について
日程第7 議案第5号 農業経営基盤強化促進法第18条第1項による農用地利用集積計画の決定について
日程第8 議案第6号 農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項の規定による農用地利用集積等促進計画案の意見聴取について
日程第9 議案第7号 農業振興地域の整備に関する法律施行規則第3条の2第1項の規定による農業振興地域整備計画変更認可に係る意見集約について
日程第10 報告第1号 農地法第18条第6項の規定による通知について
日程第11 報告第2号 農地改良行為事業協議書に対する調査の結果報告について
日程第12 報告第3号 農地改良行為事業完了届に対する調査の結果報告について
-

本日の会議に付した事件

- 日程第1 議事録署名人の指名
日程第2 会期の決定
日程第3 議案第1号 農地法第3条の規定による許可申請について
日程第4 議案第2号 農地法第4条の規定による許可申請について
日程第5 議案第3号 農地法第5条の規定による許可申請について
日程第6 議案第4号 非農地証明願について
日程第7 議案第5号 農業経営基盤強化促進法第18条第1項による農用地利用集積計画の決定について
日程第8 議案第6号 農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項の規定による農用地利用集積等促進計画案の意見聴取について
日程第9 議案第7号 農業振興地域の整備に関する法律施行規則第3条の2第1項の規定による農業振興地域整備計画変更認可に係る意見集約について
日程第10 報告第1号 農地法第18条第6項の規定による通知について

日程第11 報告第2号 農地改良行為事業協議書に対する調査の結果報告について

日程第12 報告第3号 農地改良行為事業完了届に対する調査の結果報告について

出席委員

2番	高野尚夫君	11番	鶴田英樹君
3番	青木勝照君	12番	長谷川隆君
4番	石川馨君	13番	山口忠栄君
5番	伊藤孝洋君	14番	小沼祐君
6番	柳橋泰君	15番	込山祐一君
7番	入江保夫君	16番	大槇正義君
8番	長谷川愛子君	17番	佐藤清章君
9番	國谷博隆君	18番	田山悦子君
10番	菅井亘君	19番	永田良夫君

欠席委員

1番 塙博光君

出席説明員

農業委員会事務局長	福嶋猛君
農業委員会事務局長補佐	島田耕一君
農業委員会事務局係長	松本高彦君
農業委員会農政課係長	川上智昭君
農業委員会農政課主事	根本和稀君

午後1時31分開会

開会の宣言

○議長（永田良夫君） ただいまから令和6年第5回笠間市農業委員会定例総会を開催いたします。

ただいまの出席委員18名、よって、笠間市農業委員会会議規則第6条の規定により、委員定数の半数以上に達しておりますので、本総会は成立をいたしました。

議事録署名人の指名

○議長（永田良夫君） 日程第1、議事録署名人の指名をいたします。

笠間市農業委員会会議規則第15条第2項の規定により、17番佐藤清章委員並びに18番田山悦子委員を指名いたします。

会期の決定

○議長（永田良夫君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。
お諮りいたします。

この総会の会期は、本日限りといたしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田良夫君） 異議なしと認め、会期は本日限りと決定いたしました。

議案第1号 農地法第3条の規定による許可申請について

○議長（永田良夫君） 日程第3、議案第1号 農地法第3条の規定による許可申請についてを議題といたします。

番号の43について、議席番号5番、8番委員より調査報告を願います。

○8番（長谷川愛子君） 番号43につきまして、調査の報告を説明いたします。

23日8時から、指名調査委員、譲受人、代理人立会いの上、現地を調査してまいりました。申請人、申請地等につきましては、議案書に記載のとおりです。

申請地は、光照寺の入り口を緩やかに左折、道なりに約200メートル進み、また緩やかな頂上付近の右側となっております。約2,000平米の季節のお花が栽培されています。申請内容は贈与です。譲渡人は、譲受人の奥様のお父様であります。

譲受人は専業農業経営者ではありませんが、会社退職後、自宅隣接地である今回の申請地を奥様のお父様より借り受け、約6年半、季節ごとの花と自家消費分の野菜作付にて農地を管理しておりました。今般、譲渡人が御高齢で、今後、農作業が困難なため申請に至りました。

この申請について、耕作を目的とし、また、耕作放棄地が増加傾向である今日、現場に咲く季節ごとのお花は、とても美しく、地域の皆様からも喜ばれ、好評であると伺っております。調査委員も、とてもきれいなお花に癒されました。

また、今日までの実績を踏まえ、機械、労働力、技術等についても適正であると認められます。そのほか関係書類につきましても完備しており、許可相当と判断されますので、御審議いただきますようお願いいたします。以上です。

○議長（永田良夫君） 御苦労さまでした。

番号の44について、議席番号17番、18番委員より調査報告を願います。

○18番（田山悦子君） 番号44につきまして、調査の結果を御報告いたします。

5月22日に指名調査委員2名と譲受人、譲渡人立会いの下、現地を調査してまいりました。申請人、申請地、申請目的等につきましては、議案書に記載のとおりでございます。

申請地は、こころの医療センター西交差点を西へ300メートルほど進んだ笠間中央公園入口を右折し、200メートルほど進んだ左手になります。ちなみに、当該申請地は、譲受人所有の畑に隣接しているものでございます。

譲受人の事由は、耕作面積を拡大し、家族とともに生活改善のために農業経営の安定化を図りたいとしております。譲渡人の事由は、借入金の返済のため耕作地を譲渡したいというものです。取得後の利用計画につきましては、粟の作付を行うということでございます。

なお、譲受人につきましては、これまでに栗部会の部会長も務められ、豊富な経験、知識、技術等もあり、許可要件を満たしていると判断されますので、御審議くださいますようお願いいたします。以上でございます。

○議長（永田良夫君） 御苦労さまでした。

番号の45について、議席番号4番、11番委員より調査報告を願います。

○11番（鶴田英樹君） 議案番号45番について、調査の結果を御報告いたします。

5月20日、指名調査委員2名、譲受人立会いの下、現地を調査してまいりました。

譲渡人については、対面にて確認いたしました。申請人、申請目的等については、議案書のとおりです。

申請場所は、随分附集落センターの十字路を南に20メートルほど行った水田です。

譲渡人申請理由は、高齢のため耕作ができないため。譲受人の申請理由は、耕作地に隣接しているため、作業効率が図れるためです。権利関係は贈与です。

取得後の申請地利用計画は、里芋の耕作を計画しています。今回の申請は耕作を目的とした所有権移転であり、機械、労働力についても適正と認められます。

また、関係書類についても完備されており、許可相当と判断されますので、よろしく御審議くださいますようお願いいたします。以上です。

○議長（永田良夫君） 御苦労さまでした。

番号の46、47について、議席番号2番、9番委員より調査報告を願います。

○9番（國谷博隆君） 番号46番につきまして、調査の結果を報告します。

5月24日午前9時より、指名調査委員2名と受人の立会いの下、現地調査を行いました。申請人、申請地は、議案書のとおりです。

申請場所は、JR常磐線の小原本内の踏切を渡った突き当たりの畑でした。家に隣接しております。

現在、父が作っておりますけれども、高齢のため耕作が困難であるということで、新規に、この息子さんが若いので、自給野菜を作るということで、所有権を移転するということです。南は住宅地、北と東は道路、西側は宅地という畑です。親子関係で、所有権の

移転は贈与です。家庭菜園を作るということで、機械等はあまりありませんけれども、面積が小さいので、自給野菜を作っていくというようなことを言っております。

書類等も整っており、許可相当と判断されますので、よろしく願いをいたします。
続きまして、47番につきまして説明いたします。

5月24日午前8時30分より、指名調査委員2名と受人立会いの上、現地調査を行いました。申請人、申請場所、申請内容は、議案書のとおりです。

申請場所は、国道50号線の滝川交差点を池野辺地区のほうに北へ約300メートルぐらい行った右側の水田です。

渡人は、管理が困難なため農地を譲りたい。受人は、規模拡大をするために耕作地を確保するというようなことでした。受人は、専業農家で長く農機具もそろっており、規模拡大するために当地区の担い手としてやっている方ですので、問題はないかというふうに思います。契約内容は売買です。

書類等も整っており、許可相当と判断されますので、よろしく願いをいたします。

○議長（永田良夫君） 御苦労さまでした。

番号の48、49及び50について、議席番号14番、15番委員より調査報告を願います。

○15番（込山祐一君） 申請番号48から50まで、続けて報告させていただきます。

まず初めに、申請番号48について調査の結果を説明いたします。

5月23日8時30分より、指名調査委員2名と推進委員2名、譲受人立会いの上、調査をしてまいりました。申請人、申請地等につきましては、議案書に記載のとおりです。

申請地は、県道43号茨城岩間線沿いの土師丁字路を茨城町方面へ700メートルほど行った左側の譲受人の自宅近辺に4か所と、自宅から南に1キロ離れたところの畑、計5か所の田畑です。

譲渡人の申請事由は、相続により譲り受けましたが、将来にわたり申請地の耕作はできないので、従兄の家族の3人に贈与し耕作を続けてもらいたいということでした。譲受人の申請事由は、譲渡人の意向を受け、申請地の贈与を受け、農業経営の拡大を図りたいということでした。この申請は、耕作を目的とした所有権の移転であり、適正と認められます。

そのほか関係書類についても完備されており、許可相当と判断されますので、よろしく御審議くださいますようお願いいたします。

続きまして、申請番号49について調査の結果を説明いたします。

5月23日9時より、指名調査委員2名と推進委員2名、代理人立会いの上、調査してまいりました。申請人、申請地等につきましては、議案書に記載のとおりです。

申請地は、県道43号茨城岩間線沿いの安居十字路を茨城町方面へ500メートルほど行き、右に600メートルほど入った管理された土地でした。

譲受人の申請事由は、約20年前に五洋物産株式会社のゴルフ場建設が取りやめとなった

際、五洋物産株式会社より借り受けをし、所有権移転をしないまま現在に至り、今回整理し、本登記を行うことにしたということです。譲渡人の申請事由は、用地が不要となり、譲受人に買い受けてもらう約束をしていたということでした。

取得後の申請地の利用計画は、粟を作付する計画ですが、苗の準備ができず、作付した時点で完了届を提出するとのことでした。

そのほか関係書類についても完備されており、許可相当と判断されますので、よろしく御審議くださいますようお願いいたします。

続きまして、申請番号50について調査の結果を説明いたします。

5月23日9時30分より、指名調査委員2名と推進委員2名、代理人の立会いの上、調査をしてまいりました。申請人、申請地等につきましては、議案書に記載のとおりです。

申請地は、県道43号茨城岩間線の安居十字路を茨城方面へ約700メートル行き、北へ300メートルほど行った左側の水田です。

譲受人の申請事由は、農業経営規模拡大を図るため。譲渡人の申請事由は、譲受人の要望に応じたとのこと。この申請については、耕作を目的とした所有権の移転であり、適正と認められます。

そのほか関係書類についても完備しており、許可相当と判断されますので、よろしく御審議くださいますようお願いいたします。以上です。

○議長（永田良夫君） 御苦勞さまでした。

ここで、事務局から補足説明願います。

○農業委員会事務局長（福嶋 猛君） 事務局から、許可要件について補足説明いたします。

番号の43から50につきましては、第3条の許可ができない場合を示した農地法第3条第2項各号には該当しないため、許可要件の全てを満たしていると考えます。

以上でございます。

○議長（永田良夫君） 担当委員の調査報告が終わりました。

ただいまの担当委員の報告について、何か御意見ございますか。

○6番（柳橋 泰君） 48番の案件について確認させていただきたいのですけれども、これは渡人、受人の間で、無償で親戚の方に、3名の方が受けるということなのですけれども、面積等を見ていくと、渡人の面積全てをこの3人の方に3分の1ずつということで、言ってみれば生前贈与みたいな感じとも受けるのですけれども。

ただ、農地のこういう権利移転の関係で、一般の土地だったら、これはありでしょうけれども、これは適当なのでしょうか。

そしてあと、これは受人の方のほうで、誰が主体になって耕作をしているのかなということちょっと確認したいのですけれども。

○議長（永田良夫君） 暫時休憩といたします。

午後 1 時 4 6 分休憩

午後 1 時 4 8 分再開

○議長（永田良夫君） 休憩を解き、会議を再開いたします。

そのほか御意見ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田良夫君） 直ちに、お諮りいたします。

議案第 1 号 農地法第 3 条の規定による許可申請について、原案どおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田良夫君） 異議なしと認め、議案第 1 号は原案どおり決定されました。

議案第 2 号 農地法第 4 条の規定による許可申請について

○議長（永田良夫君） 日程第 4、議案第 2 号 農地法第 4 条の規定による許可申請についてを議題といたします。

番号の 5 について、議席番号 14 番、15 番委員より調査報告を願います。

○15 番（込山祐一君） 申請番号 5 について、調査の結果を説明いたします。

5 月 23 日 8 時より、指名調査委員 2 名と申請人立会いの上、現地を調査してまいりました。申請人、申請地等につきましては、申請目的等につきましては、議案書に記載のとおりです。

転用事由は、住宅の改築に当たり測量をしたところ、農地の一部が宅地として使用していたのが発覚したためです。この件については、始末書も添付されております。隣接地の日照、通風、耕作への影響ですが、特にないと見てまいりました。

そのほか関係書類についても完備されており、許可相当と判断されます。どうぞ御審議くださいますようよろしくお願いいたします。以上です。

○議長（永田良夫君） 御苦労さまでした。

ここで、事務局より農地区分等について説明願います。

○農業委員会事務局長（福嶋 猛君） 事務局より、農地区分について御説明いたします。

番号の 5 につきましては、農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い農地という理由から、第二種農地と判断されます。

農地区分については、以上でございます。

○議長（永田良夫君） 事務局の説明が終わりました。

お諮りいたします。

ただいまの担当委員の報告について、何か御意見ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田良夫君） 直ちに、お諮りいたします。

議案第2号 農地法第4条の規定による許可申請について、原案どおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田良夫君） 異議なしと認め、議案第2号は原案どおり決定されました。

議案第3号 農地法第5条の規定による許可申請について

○議長（永田良夫君） 日程第5、議案第3号 農地法第5条の規定による許可申請についてを議題といたします。

番号の32から36について、議席番号5番、8番委員より調査報告願います。

○8番（長谷川愛子君） 番号32から36番につきまして報告をいたします。

まず初めに、番号32につきまして、23日8時30分から指名調査委員で調査をしてまいりました。代理人とは電話にて確認をいたしました。申請人、申請地等につきましては、議案書に記載のとおりです。

申請地は、岡本測量事務所様の道路の反対側でございます。

譲受人の申請理由は、譲渡人とは古くからの交流があり、御高齢で耕作管理も困難であることから、譲り受ける運びになったということです。双方との連絡が取れなかったため、再度、代理人に確認を取っております。

現場は、農地として一定の面積はありますが、四方が住宅に囲まれていて、農作業はとて困難な場所であると見てまいりました。取得後は分譲宅地を建設予定。権利移転の内容は売買です。資金面から見ても実現性は認められます。

隣接地への影響は、東側宅地、西側宅地、南側道路、北側水路。農作物への影響はありません。雑排水につきましては、公共水道を使用し、公共下水道、そして雨水は宅地内処理を計画しております。

そのほか関係書類につきましても完備されており、許可相当と判断されます。

続きまして、番号33につきまして報告をいたします。

同日23日8時から、指名調査委員と譲受人、代理人と現地を確認してまいりました。申請人、申請地等につきましては、議案書に記載のとおりです。

申請地は、先ほど報告をいたしました3条43番と隣接しております。

譲受人の申請理由は、平成28年、住宅建設に伴い新設地の道路がとても狭く、車の出入りが困難なため、隣接地の農地を越境し利用してまいりました。現在は碎石をひいております。そのため、始末書の添付がございます。

隣接地への影響は、東側道路、西側畑、南側宅地、北側畑。農作物への影響はございま

せん。雑排水は発生しません。雨水等は自然浸透です。

そのほか関係書類につきましても完備されており、許可相当と判断できますので、御審議いただきますようお願いいたします。

続いて、番号34につきまして報告いたします。

同日23日10時から、指名調査委員で調査をしまりました。代理人と電話にて確認をいたしました。申請人、申請地等につきましては、議案書に記載のとおりです。

申請地は、国道50号線から笠間自動車学校に向かって50メートル先を右折に進み、Y字路を左折に進んだ共同墓地の後ろです。転用目的は太陽光発電施設です。

譲受人は、申請理由として、脱炭素社会の事業として再生可能エネルギー普及のため、そして土地確保の要望に応じていただいたとのこと。譲渡人は、要望に応じることです。資金面から見ても実現性は認められます。

隣接地への影響は、東側畑、西側、田んぼと畑、南側田んぼ、北側、道を挟んで畑と宅地です。そして、雑排水につきましては、ありません。雨水排水は敷地内浸透処理となっております。

そのほか関係書類につきましても完備されており、許可相当と判断できますので、御審議いただきますようよろしくお願いいたします。

続いて、番号35、36につきまして、隣接地のため一緒に調査の報告をいたします。

23日9時から、指名調査委員で調査をしまりました。代理人、そして譲渡人は電話にて確認をいたしました。申請人、申請地等につきましては、議案書に記載のとおりです。

申請地は、笠間駅より東側、県道42号笠間つくば線のJR水戸線線路を過ぎて、左折した突き当たりとなっております。

転用目的は、太陽光発電施設の設置のため。権利移転の内容は売買です。譲受人の申請理由は、日照条件が良く、適度な広さの太陽光発電施設用地を探していた。譲渡人は、要望に応じ譲渡をすることとさせていただきます。

現場は、住宅地の突き当たりであり、真横には電車が走り、農作業には不向きな場所であると感じました。資金面から見ても実現性は認められます。

隣接地への影響は、北側雑種地、南側道路、宅地、そして東側水路、西側道路。農作物への影響はありません。雑排水は発生しません。雨水は敷地内自然浸透を計画しております。

そのほか関係書類につきましても完備されており、許可相当と判断できますので、御審議いただきますようお願いいたします。以上です。

○議長（永田良夫君） 御苦労さまでした。

番号の37、38について、議席番号2番、10番委員より調査報告願います。

○10番（菅井 亘君） 番号37、38について、調査結果を報告いたします。

まず最初に37番です。5月22日、指名調査委員2名と代理人立会いの上、現地調査を行

いました。申請地、申請人については、議案書に記載のとおりであります。

申請場所は、国道50号線滝川交差点から北に6キロメートルほど入りますと左側に鹿島神社がございます。その裏手の地区でございます。

申請内容は、売買による権利移転でございます。申請地は、先月施工しました隣接地の地主からの紹介で、譲渡人、譲受人ともに承諾をしまして、申請を行いました。

設置場所は、西側が宅地、南側は畑になっています。東側、北側は道路でございます。隣接地への農地等について、影響はございません。取水はありません。雨水は敷地内浸透でございます。管理計画等については、定期巡回を行い、除草の作業も行ってまいります。

許可相当と判断いたしますので、よろしく審議お願いいたします。

続きまして、38番について調査結果を報告いたします。

調査委員2名と現地調査を行いました。代理人については、業務都合により立会いできないということで、電話で確認を取り合いました。申請地、申請人は、議案書に記載のとおりでございます。

申請場所は、国道50号線滝川交差点から北に直線で6キロメートル入りますと、左側に池野辺の公民館がございます。その前の道路沿いでございます。

申請内容は売買による権利移転でございます。申請地は現在、休耕田で、譲渡人は会社勤めもあり管理するのが困難である。申請場所は、日照も良好で、立地条件もそろっております。

申請場所は、北側が道路、南側は水路になっています。東側は田、西側は雑種地でございます。雨水は敷地内浸透で、取水はございません。完成後、防草シートを敷設して、定期点検を実施してまいります。

特に問題点はございません。許可相当と判断いたしますので、よろしく審議をお願いいたします。

○議長（永田良夫君） 御苦労さまでした。

番号の39、40及び41について、議席番号7番、16番委員より調査報告を願います。

○7番（入江保夫君） 申請番号39番から41番について、調査結果を御報告いたします。

最初に、申請39について御報告いたします。

5月22日、指名調査委員全員と推進委員が現地確認を行いました。なお、申請代理人とは電話で確認を行いました。申請場所及び譲受人、譲渡人等は、議案書のとおりです。

申請場所は、国道50号線を筑西方面に進み、JA常陸笠間支店を過ぎ、約200メートル行った右側の水田地帯です。

申請理由は、譲受人は、太陽光発電施設の建設を計画しており、譲渡人は、譲受人の要望に応じるとのことです。所有権の移転内容は売買です。

現況は休耕地となっており、今後も耕作する予定もなく、隣接状況は、南、東、北側が道路、西側が水田となっております。特に周囲への影響はないと判断してまいりました。

なお、土砂の排出入はありません。

また、申請書類も完備されております。

次に、申請番号40番について御報告いたします。

同日、指名調査委員全員と推進委員とで現地確認を行いました。なお、申請代理人とは電話で確認をしました。申請場所は、先の申請番号39番の道路を挟んだ北側です。

申請理由は、譲受人は、太陽光発電施設の建設を計画しており、譲渡人は、譲受人の要望に応じるとのことです。所有権の移転内容は売買です。現況は休耕地となっており、今後も耕作する予定はないとのことです。

隣接状況は、東側が道路、南、北側が水田、西側が雑種地となっております。特に周囲への影響はないと思われまます。なお、土砂の排出入はありません。

また、申請書類も完備されております。

最後に、申請番号41について御報告いたします。

同日、指名調査委員全員と推進委員、申請代理人立会いの下、現地確認を行いました。申請場所及び譲受人、譲渡人は、議案書のとおりです。

申請場所は、J R水戸線稲田駅から本戸方面に進行し、400メートル進んだ先の交差点の手前の右側のところす。

申請理由は、譲受人は、太陽光発電施設の建設を計画しており、譲渡人は、譲受人の要望に応じるとのことです。所有権の移転内容は売買です。現況は休耕地になつており、今後も耕作する予定はないとのことす。

隣接状況は、東側が道路、南、北側が畑、西側が水路と、特段、周囲への影響はないと思われまます。なお、土砂の排出入はありません。

また、申請書類も完備されております。

以上、3件について御報告いたします。全て許可相当と判断しますので、御審議のほどをお願いします。以上です。

○議長（永田良夫君） 御苦労さまでした。

番号の42について、議席番号2番、9番委員より調査報告を願います。

○9番（國谷博隆君） 42番につきまして、調査の結果を報告いたします。

5月24日9時15分より、指名調査委員2名と受人の立会いの上、現地調査を行いました。申請場所は3条の46番でも申請した方で、その家のすぐ脇の場所です。J R常磐線の小原本内の踏切を超えたところで、道路拡張に伴いまして駐車場を移転するものです。

現在、畑地ですけれども、親から贈与をしていただいて、畑地から駐車場に転用するものです。西側が道路、南側が宅地、北側が道路です。駐車場ですから、汚水雑排水の計画等はありません。所有権移転は贈与ということでありまます。

書類も整っており、許可相当と判断されますので、よろしく御審議くださいますようお願いいたします。以上です。

○議長（永田良夫君） 御苦労さまでした。

番号の43について、議席番号6番、12番委員より調査報告を願います。

○6番（柳橋 泰君） 番号43番につきまして、調査の結果を説明いたします。

5月23日、調査委員2名により現地を調査してきました。申請代理人については、遠方のため電話にて確認いたしました。申請人、申請地等については、議案書に記載のとおりで、権利関係は売買です。

申請地は、JR常磐線岩間駅の北側踏切を東に渡ってすぐの交差点を左に曲がり、常磐線沿いを北東に600メートルほど進んだところでは、申請地は休耕状態で、周囲は北側の太陽光発電施設のほか、栗が栽培されています。

譲受人の申請事由は、クリーンエネルギー創出のため、日照条件が良く、拠点周辺で安定的な発電が可能で、適当な広さの太陽光発電用地を探していたところ、譲渡人との合意に至ったため、農地転用のはこびとなったというものです。譲渡人の申請事由は、要請により譲渡するというものです。

取水排水計画はありません。雨水は敷地内自然浸透処理で、周囲はフェンスを設置する計画です。完成後は、年2回のメンテナンス、草刈りを実施する計画です。

東側、栗園、西側、道路、南側、畑、北側は太陽光発電施設で、周囲への影響はないものと見てまいりました。資金計画は自己資金によるものです。

そのほか関係書類についても完備しており、許可相当と判断されますので、よろしく御審議くださいますようお願いいたします。以上です。

○議長（永田良夫君） 御苦労さまでした。

番号の44、45及び46について、議席番号3番、13番委員より調査報告を願います。

○3番（青木勝照君） 申請番号44から46について、調査結果を報告いたします。

まず、申請番号44番ですが、5月25日、指名調査委員及び推進委員と代理人立会いの上、現地調査を行いました。

申請地は、国道355号線を石岡方面に向かい、にしぼり整形外科の反対側の土地です。

譲受人は古物商を営んでおり、手狭となった資材置場を拡張したいことが申請理由です。譲渡人は、相手の要望に応じるとのことです。

取水及び雑排水は使用しません。雨水は敷地内自然浸透です。隣接地への日照、通風、騒音の影響はありません。計画面積は、必要最小限の面積と考えます。権利関係は、贈与に間違いありません。

よって、以上の調査結果から許可相当と判断いたします。

続きまして、申請番号45番について調査結果を報告いたします。

5月25日、指名調査委員及び推進委員と譲受人、譲渡人及び代理人立会いの上、現地調査を行いました。

申請地は、国道355号線を石岡方面に向かい、平地内の押しボタン信号を右に曲がり、100

メートルぐらい行ったところの十字路を左に曲がり、200メートル行った変則的な十字路の右側の土地です。

譲受人の申請理由は、自己住宅建設です。譲渡人は、子の要望に応じるとのことです。

取水は公共水道を使用し、汚水及び雑排水は農業用集落排水に接続します。雨水は敷地内自然浸透です。隣接地への日照、通風、騒音の影響はありません。計画面積は、必要最小限の面積と考えます。権利関係は、贈与に間違いありません。

よって、以上の調査結果から許可相当と判断いたします。

続きまして、申請番号46番について調査結果を報告いたします。

5月25日、指名調査委員及び推進委員と譲受人立会いの上、現地調査を行いました。

申請地は、国道355号線を石岡方面に向かい、平地内の押しボタン信号を右に曲がり、100メートルぐらい行ったところの十字路を左に曲がり、150メートル行った右側の土地です。

譲受人の申請理由は、サウナ事業の開始に伴い駐車場を作成するためです。なお、3年間の一時転用となります。譲渡人は、子の要望に応じるとのことです。

取水及び雑排水は使用しません。雨水は敷地内自然浸透です。隣接地への日照、通風、騒音の影響はありません。計画面積は、必要最小限の面積と考えます。権利関係は、使用貸借に間違いありません。

よって、以上の調査結果から、内容については許可相当と判断いたしますが、転用場所の確認ができなかったため、事務局が確認すれば許可することとしたいと思います。

以上、3件につきまして、よろしく御審議くださいますようお願いいたします。以上です。

○議長（永田良夫君） 御苦労さまでした。

番号の47、48について、議席番号14番、15番委員より調査報告願います。

○14番（小沼 祐君） 申請番号47につきまして、調査結果を報告いたします。

5月23日10時より、指名調査委員2名と代理人2名立会いの上、現地調査を行いました。申請人、申請地については、議案書に記載のとおりです。

申請地につきましては、県道52号石岡城里線、俎倉交差点を東へ700メートル行き、茨城町の木部南部公民館の信号機を左折し、50メートル行ったところを左折し、600メートル行った左側の土地です。

譲受人の事由は、小規模で太陽光発電事業を行うために候補地を検討していたところ、譲渡人から承諾が得られたため、太陽光発電事業を行うことにしました。譲渡人の事由は、以前より休耕状態にあったため、土地の譲り渡しを考えており、譲受人より太陽光発電事業についての説明を受け、譲り渡すことにしました。権利関係は売買です。

隣接状況は、東側山林、西側山林、南側畑、北側太陽光発電施設。取水、汚水、排水はなし。雨水は浸透処理です。隣接地への日照、通風、耕作地への影響はないと見てまいりました。

このほか関係書類についても完備されており、許可相当と判断されますので、御審議くださいますようお願いいたします。以上です。

続きまして、申請番号48について、調査結果を報告いたします。

5月23日10時30分より、指名調査委員2名と譲受人立会いの上、現地調査を行いました。申請人、申請地については、議案書に記載のとおりです。

申請地については、常磐道岩間インター入口を東へ1,700メートル行った岩間工業団地入口の信号の南側の土地です。

譲受人の事由は、申請地の隣接において事業所を構え営業しておりますが、事業の規模拡大により従業員が増えたので、駐車場の確保が困難になったため、隣接地を駐車場として活用したいということです。譲渡人の事由は、現在、作付を行っておらず、今後も作付をしないということから、譲受人の要望に応えるということです。権利関係は売買です。

隣接状況は、東は宅地、西側畑、南側畑、北側道路です。取水なし。汚水、排水なし。雨水の浸透は敷地内の浸透処理です。隣接地への日照、通風、耕作地への影響はないと見てまいりました。

このほか関係書類についても完備されており、許可相当と判断されますので、よろしく御審議くださいますようお願いいたします。以上です。

○議長（永田良夫君） 御苦労さまでした。

ここで、事務局より農地区分等について説明願います。

○農業委員会事務局長（福嶋 猛君） 事務局より、農地区分について御説明いたします。

番号の42、45及び46につきましては、おおむね10ヘクタール以上の規模の一団の農地の区域内であるため、第一種農地と判断されます。

番号の32、43につきましては、用途地域内の農地であるため、第三種農地と判断されます。

その他につきましては、農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い農地という理由から、第二種農地と判断されます。

農地区分については、以上でございます。

○議長（永田良夫君） 事務局の説明が終わりました。

お諮りいたします。

ただいまの担当委員の報告について、何か御意見ございますか。

○5番（伊藤孝洋君） 先ほど46番の報告の中で、土地の場所がちょっと不明なので、事務局で確認が取ればという報告があったのですがけれども、これについて確認をしたいと思います。以上です。

○農業委員会事務局長（福嶋 猛君） 事務局からです。農業委員さんが現地で立ち会っていただいたときに、杭を出していただくようお願いはしてございました。申請人は、業者さんのほうに杭出しの依頼をしていたのですが、杭出しが間に合わなかったと

ということです。農業委員さんは現地を確認して、書類等も不備がないということを確認しております。その境界杭が2日後に落とされるということの報告が今日、申請人よりございまして、その境界杭の確定をもって許可をするということでございます。

○5番（伊藤孝洋君） 分かりました。

○議長（永田良夫君） そのほか御意見ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田良夫君） 直ちに、お諮りいたします。

議案第3号 農地法第5条の規定による許可申請について、原案どおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田良夫君） 異議なしと認め、議案第3号は原案どおり決定されました。

議案第4号 非農地証明願について

○議長（永田良夫君） 日程第6、議案第4号 非農地証明願についてを議題といたします。

番号の3について、議席番号5番、8番委員より調査報告を願います。

○8番（長谷川愛子君） 番号3につきまして、調査の報告をいたします。

23日9時30分から、指名調査委員で現地を調査してまいりました。申請人、申請地等につきましては、議案書に記載のとおりです。

申請地は、笠間焼窯元共販センターの道を挟んで反対側となっております。現地は山林の状態で、とても畑として使用できる状態ではありませんでした。現状を踏まえましても、非農地であると見て間違いないと考えます。

そのほか関係書類につきましても完備されており、許可相当と判断されますので、御審議いただきますようよろしくお願いいたします。以上です。

○議長（永田良夫君） 御苦労さまでした。

担当委員の調査報告が終わりました。

お諮りいたします。

ただいまの担当委員の報告について、何か御意見ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田良夫君） 直ちに、お諮りいたします。

議案第4号 非農地証明願について、原案どおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田良夫君） 異議なしと認め、議案第4号は原案どおり決定されました。

議案第5号 農業経営基盤強化促進法第18条第1項による農用地利用集積計画の決定
について

○議長（永田良夫君） 日程第7、議案第5号 農業経営基盤強化促進法第18条第1項による農用地利用集積計画の決定についてを議題といたします。

事務局より説明願います。

○農業委員会事務局長補佐（島田耕一君） 議案第5号 農業経営基盤強化促進法第18条第1項による農用地利用集積計画の決定について、御説明申し上げます。

議案書につきましては、12ページから13ページになります。

今回の農用地利用集積計画につきましては、農業経営基盤強化促進法に基づく貸借権の設定で、相対による利用権の設定が3件となります。権利関係は、使用貸借権の設定が1件、賃貸借権の設定が2件となります。合計12筆、1万6,213平方メートルの設定でございます。詳細につきましては、議案書12ページから13ページを御覧いただき、御審議賜りますようお願いいたします。

なお、この農用地利用集積計画は、改正前の農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各要件を満たしていると考えます。

説明については、以上でございます。

○議長（永田良夫君） 事務局の説明が終わりました。

お諮りいたします。

ただいまの説明について、何か御意見ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田良夫君） 直ちに、お諮りいたします。

議案第5号 農業経営基盤強化促進法第18条第1項による農用地利用集積計画の決定について、原案どおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田良夫君） 異議なしと認め、議案第5号は原案どおり決定されました。

議案第6号 農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項の規定による農用地
利用集積等促進計画案の意見聴取について

○議長（永田良夫君） 日程第8、議案第6号 農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項の規定による農用地利用集積等促進計画案の意見聴取について（機構・受け手間契約）を議題といたします。

事務局より説明願います。

○農業委員会事務局長補佐（島田耕一君） 議案第6号 農地中間管理事業の推進に関す

る法律第19条第3項の規定による農用地利用集積等促進計画案の意見聴取について（機構・受け手間契約）の内容を御説明申し上げます。

議案書につきましては、14ページから15ページとなります。

農地中間管理事業により公益社団法人茨城県農林振興公社から借り受ける土地は、利用権の設定が4件となります。権利関係は、賃貸借権の設定が4件となります。合計13筆、2万1,111平方メートルの計画でございます。詳細につきましては、議案書14ページから15ページを御覧いただき、御審議賜りますようお願いいたします。

なお、この農用地利用集積等促進計画案（機構・受け手間契約）は、農地中間管理事業の推進に関する法律第18条第5項に規定されている県知事認可の各要件を満たしていると考えます。

説明については、以上でございます。

○議長（永田良夫君） 事務局の説明が終わりました。

議案第6号（機構・受け手間契約）については、農業委員会等に関する法律第31条第1項の規定による議事参与の制限を受ける案件が1件ありますので、当該案件を分離して先に審議いたします。

まず、議案第6号（機構・受け手間契約）の番号30について審議いたします。

審議が終了するまでの間、12番長谷川 隆委員、退場を願います。

暫時休憩といたします。

午後2時28分休憩

午後2時28分再開

○議長（永田良夫君） 休憩を解き、会議を再開いたします。

お諮りいたします。

ただいまの説明について、何か御意見ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田良夫君） 直ちに、お諮りいたします。

議案第6号（機構・受け手間契約）の番号30について、原案どおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田良夫君） 異議なしと認め、議案第6号（機構・受け手間契約）の番号30は原案どおり決定されました。

それでは、12番長谷川 隆委員が入場しますので、暫時休憩といたします。

午後2時29分休憩

午後2時29分再開

○議長（永田良夫君） 休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、ただいま分離して審議した議案第6号（機構・受け手間契約）の1件を除く3件について審議いたします。

お諮りいたします。

ただいまの説明について、何か御意見ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田良夫君） 直ちに、お諮りいたします。

ただいま分離して審議した議案第6号（機構・受け手間契約）の1件を除く3件について、原案どおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田良夫君） 異議なしと認め、ただいま分離して審議した議案第6号（機構・受け手間契約）の1件を除く3件について、原案どおり決定されました。

次に、議案第6号 農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項の規定による農用地利用集積等促進計画案の意見聴取について（一括契約）を議題といたします。

事務局より説明願います。

○農業委員会事務局長補佐（島田耕一君） 議案第6号 農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項の規定による農用地利用集積等促進計画案の意見聴取について（一括契約）の内容を御説明申し上げます。

議案書につきましては、16ページから22ページになります。

農地中間管理事業により公益社団法人茨城県農林振興公社から借り受ける土地は、利用権の設定が16件となります。権利関係は、使用貸借権の設定が3件、賃貸借権の設定が13件となります。合計21筆、3万6,368平方メートルの計画でございます。詳細につきましては、議案書16ページから22ページを御覧いただき、御審議賜りますようお願いいたします。

なお、この農用地利用集積等促進計画案（一括契約）は、農地中間管理事業の推進に関する法律第18条第5項に規定されている県知事認可の各要件を満たしていると考えます。

説明については、以上でございます。

○議長（永田良夫君） 事務局の説明が終わりました。

議案第6号（一括契約）については、農業委員会等に関する法律第31条第1項の規定による議事参与の制限を受ける案件が3件ありますので、当該案件を分離して先に審議いたします。

まず、議案第6号（一括契約）の番号37について審議いたします。

審議が終了するまでの間、9番國谷博隆委員、退場を願います。

暫時休憩といたします。

午後 2 時 3 3 分休憩

午後 2 時 3 3 分再開

○議長（永田良夫君） 休憩を解き、会議を再開いたします。

お諮りいたします。

ただいまの説明について、何か御意見ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田良夫君） 直ちに、お諮りいたします。

議案第 6 号（一括契約）の番号37について、原案どおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田良夫君） 異議なしと認め、議案第 6 号（一括契約）の番号37は原案どおり決定されました。

それでは、9 番國谷博隆委員が入場しますので、暫時休憩といたします。

午後 2 時 3 4 分休憩

午後 2 時 3 4 分再開

○議長（永田良夫君） 休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、議案第 6 号（一括契約）の番号39、40、41について審議いたします。

審議が終了するまでの間、4 番石川 馨委員、退場をお願いします。

暫時休憩といたします。

午後 2 時 3 4 分休憩

午後 2 時 3 5 分再開

○議長（永田良夫君） 休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、議案第 6 号（一括契約）の番号39、40、41について審議いたします。

ただいまの説明について、何か御意見ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田良夫君） 直ちに、お諮りいたします。

議案第 6 号（一括契約）の番号39、40、41について、原案どおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田良夫君） 異議なしと認め、議案第 6 号（一括契約）の番号39、40、41は原案どおり決定されました。

それでは、4 番石川 馨委員が入場しますので、暫時休憩といたします。

午後 2 時 3 6 分休憩

午後 2 時 3 7 分再開

○議長（永田良夫君） 休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、ただいま分離して審議した議案第 6 号（一括契約）の 4 件を除く 12 件について審議いたします。

お諮りいたします。

ただいまの説明について、何か御意見ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田良夫君） 直ちに、お諮りいたします。

ただいま分離して審議した議案第 6 号（一括契約）の 4 件を除く 12 件について、原案どおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田良夫君） 異議なしと認め、ただいま分離して審議した議案第 6 号（一括契約）の 4 件を除く 12 件について、原案どおり決定されました。

次の日程第 9、議案第 7 号は、農政課職員が説明のために入場しますので、暫時休憩といたします。

午後 2 時 3 8 分休憩

午後 2 時 4 3 分再開

○議長（永田良夫君） 休憩を解き、会議を再開いたします。

議案第 7 号 農業振興地域の整備に関する法律施行規則第 3 条の 2 第 1 項の規定による農業振興地域整備計画変更認可に係る意見集約について

○議長（永田良夫君） 日程第 9、議案第 7 号 農業振興地域の整備に関する法律施行規則第 3 条の 2 第 1 項の規定による農業振興地域整備計画変更認可に係る意見集約についてを議題といたします。

番号の 1 について、農政課より説明願います。

○農業委員会農政課係長（川上智昭君） 農政課の川上です。よろしく願いいたします。着座にて説明させていただきます。

今回、農業振興地域の整備計画の変更申請案件につきまして説明させていただきます。今回は除外が 2 件、編入が 1 件となります。よろしく願いいたします。

では、お手持ち資料の、順番が前後してしまって申し訳ございませんが、案件 3 の編入のほうの資料を御覧ください。

○議長（永田良夫君） 暫時休憩とします。

午後2時45分休憩

午後2時46分再開

○議長（永田良夫君） 休憩を解き、会議を再開いたします。

○農業委員会農政課係長（川上智昭君） まず、変更申請書より御説明いたします。1ページから3ページが変更申請書になります。

事業計画者、土地所有者情報につきまして、こちらにつきまして、農振農用地区域への編入案件になりまして、計画者及び土地所有者は、申請者及び別紙（1）ですね、次の2ページ目の記載のとおりとなっております。事業計画者と土地の所有者の関係は他人となっております。

事業計画地は、3ページの別紙（2）のほうになります。2のとおりの計18筆になります。

登記地目は、田、畑、原野の三つになります。面積は、合計で1万5,698平米になります。

利用目的及び土地の選定理由につきましては、利用目的は市が行う土地改良事業によるもので、土地の選定理由につきましては、当事業が耕作放棄地の解消や笠間の粟の生産拡大を目的としておりまして、見晴らしや日照条件が良く、かつ幹線道路に隣接している区域を検討した結果、当該区域の選定を行いました。

続きまして、事業の内容に関して、関連資料を用いて説明させていただきます。4ページ、5ページですね。こちらのほうが位置図と付近の状況図になります。

計画地は、字で言いますと、中市原から日草場のほうに向かっていく市道（笠間0106号線）の牛舎等がある近くの農地となっております。

続きまして、6ページから8ページになります。こちらのほうが事業計画図となっております。

予定している土地改良事業の概要及び区域となりまして、こちらの色が塗られているところが今回の計画地の全18筆となっております。こちらの18筆が今回の区域への編入となっております。

続きまして、7ページのところが今回の事業の全体の概要となっております。

続きまして、8ページになります。8ページは、今回の事業の全体の計画図となっております。一部、既に農振のほうに含まれている地域もあるような形となっております。

続きまして、9ページから18ページが今回の土地の登記簿の写しとなっております。

最後に、19ページから21ページのほうが農振農用地区域の図面及び現地の状況写真のほうとなっております。今回の事業計画地につきましては、農振農用地区域に隣接している形となりまして、現地の確認写真のような状況となっております。

こちらの案件の説明は以上となります。よろしくお願いたします。

○議長（永田良夫君） 続きまして、番号の1について、議席番号2番、9番委員より調査報告を願います。

○9番（國谷博隆君） 5月24日9時から、指名調査委員2名で現地を調査いたしました。

現地は、今説明があったように、耕作放棄地が大分ある畑と、それから水田は作られていたところもありますけれども、そういう状況で、非常に境界の分かりにくいところです。

事業では、6年度に境界確認をするというようなことで、7年度に工事着手、8年から栗の植栽を開始するということです。水はけが悪いので、排水事業として、暗渠排水をしたり、基盤整備と客土をするそうです。それから用排水、約250メートルぐらいを整備するということを書いてあり、事業費として県が62.5%、市が37.5%、地元負担はゼロということです。その後は農地中間管理機構に貸して、農業公社が20年間、借受し、期間満了後、返却をする場合は更地にして戻すというようなことのようにです。

そういうことで、現場を見てきまして、栗は笠間が今いろいろやっている品目ですし、田んぼを畑地にして栗を植えるという大きな目標もある事業だと思います。

そういう意味では、ここは笠間の道の駅や、いろいろなイベントで通る道路のすぐ脇ですから、そういう意味ではPRもできるのかなと思います。書類も整っているようですから、いいのかなというふうに思います。以上です。

○議長（永田良夫君） 御苦労さまでした。

暫時休憩とします。

午後2時53分休憩

午後2時54分再開

○議長（永田良夫君） 休憩を解き、会議を再開いたします。

番号の2について、農政課より説明願います。

○農業委員会農政課係長（川上智昭君） 続けて説明させていただきます。

まずは、変更申請書のほうから御説明させていただきます。1ページから3ページが変更申請書となっております。

こちらの申請は、農振農用区域からの除外案件となっております。事業計画者及び土地所有者は、申請書の記載のとおりとなります。事業計画者と土地所有者の関係は、親子となっております。

事業計画地は、記載のとおり1筆となっております。登記地目は畑、面積は562平米です。利用目的及び土地の選定理由につきまして、利用目的は自己用住宅兼事務所及び資材置場となります。

事業計画書は、現在、本申請地に隣接する宅地にある居宅で家族4人で住んでおりますが、その居宅のほうが老朽化が激しく、間取りも狭い状況でございます。

さらに、事業者につきましては、大工工事業を営んでおり、事業の拡大のため、事務所

の部分の拡張も計画していることから、現在の住居を取り壊し、隣接する本申請地にまたがり新築するものとなっております。

また、現在、本申請地には物置及び車庫が建っており、そのほかにつきましては、砕石が敷かれ、資材置場として利用してしまっており、今回の申請に伴い調査をした結果、違反していることが発覚しました。今回の自己用住宅兼事務所の新築の申請に併せて、資材置場の違反を解消したいものとなっております。

土地の選定理由につきましては、申請者において土地を所有しておらず、申請者の父が所有する土地を検討しましたが、住宅建築に適した土地がなかったため、現在の宅地に隣接する本申請地を設定いたしました。

また、詳細な計画については、3ページを御覧ください。3ページは事業計画となっております。

続きまして、事業の内容に関して、関連資料を用いて御説明いたします。

4ページ、5ページが位置図及び付近状況図となっております。

計画地につきましては、県道30号水戸岩間線沿いにあり、鶴田直商店の道路を挟んだ、はす向かい側となります。

続いて、6ページが土地利用計画の図になります。

続きまして、7ページ、8ページが事業計画図の平面図及び立面図となります。

続きまして、9から11ページが申請地及び隣接地の公図及び隣接地の状況を記した公図の写しとなっております。

続きまして、12ページから14ページが申請地の登記簿となります。

15ページに、隣接の筆の所有者の同意書になります。

16ページから20ページ、こちらが代替地の検討の確認書になります。及び関連資料となっております。申請者において土地を所有していないことから、申請者の父が所有する申請地以外の土地においても土地の検討をしましたが、住宅に適した土地がなかったということで、現在の宅地に隣接する本申請地を設定した結果となっております。

21ページが委任状となっております。

22ページから24ページが事業概要や一般建設業許可書、事業計画及び今回の違反が発覚したということで、始末書という形で添付されております。

最後に、25ページから30ページ、こちらが農振農用地区域の図面及び現地の確認写真となっております。御確認いただければと思います。

今回の計画地につきましては、農振農用地区域の縁辺部にあることを確認しております。

また、農振除外の6要件ですが、今回の除外につきましては、申請地はほかに代替すべき土地がない。地域計画内で担い手が特定されておらず、また、確保も見込まれていないことから、地域計画の達成にも支障を及ぼさない。農振農用地の縁辺部にあるため、変更後の農振農用地区域の連担性が保たれる。農地の集団性が損なわれるおそれがないこと

から、担い手に対する利用の集積に支障を及ぼさない。申請地は土地改良事業外であります。

以上のことから、要件を全て満たしていることを確認しております。

説明は以上となります。

○議長（永田良夫君） 続きまして、番号の2について、議席番号4番、11番委員より調査報告を願います。

○11番（鶴田英樹君） 5月20日、指名調査委員2名にて現地を見てまいりました。

場所は、県道30号線随分附十文字を水戸方面に約30メートルほど行ったところです。

現在、祖父が建てた住宅に住んでいるが、築55年ほどたっているため、老朽化及び間取りも狭く、申請地にて自営業を営んでおるため、事務所との兼用住宅及び資材置場を建築したいとのことです。現在、申請地は、物置、車庫、碎石敷き駐車場として利用しているため、今回を機会に違反状況を解消したいとのことです。

また、この土地は、住宅の南側と西側、L字型になっているため、使い勝手も多分悪いと思います。

また、近隣の農地の所有者からも同意が得られていますので、問題ないものと見てまいりましたので、御報告いたします。以上です。

○議長（永田良夫君） 御苦労さまでした。

暫時休憩といたします。

午後3時03分休憩

午後3時04分再開

○議長（永田良夫君） 休憩を解き、会議を再開いたします。

番号の3について、農政課より説明願います。

○農業委員会農政課係長（川上智昭君） まず初めに、一部資料の訂正を御連絡いたします。

1ページ目の農振の変更申請書につきまして、②番の土地所有者の住所氏名という欄を御覧ください。そちらの土地所有者の年齢のところは67歳と記載されておりますが、確認しましたところ77歳の誤りでした。

それに併せまして、議案書の24ページになります。

そちらのほうにも地権者の年齢のほうを記載しております。67歳が誤りで、正しくは77歳となります。訂正させていただきます。申し訳ございませんでした。

それでは、続いて説明をさせていただきます。

まず、1ページが変更の申請書となっております。事業計画者及び土地所有者情報のこちらの申請は、農振農用地区域からの除外の案件となっております。事業計画者及び土地所有者は、申請書に記載のとおりとなっております。

事業計画者と土地所有者の関係は、他人となります。事業計画地は、記載のとおり1筆となります。登記地目は畑、面積は452平米となります。利用目的は自己用住宅となります。

事業計画者は、現在、市内の借家に住んでおりますが、この春に2人目のお子様がお生まれになり、家族4人で部屋が手狭となりまして、今後の育児や子供の通学などを考えた結果、本申請地に自己用住宅を新築するものであります。

土地の選定理由は、申請者において土地を所有しておらず、当初は祖母及びおじが所有する土地を検討しましたが、既存の建物があり建築スペースがない等の理由により、適した用地が見つからず、その中で申請地の所有者より承諾が得られたため、当申請地を選定いたしました。

続いて、事業内容に関して、関連資料を用いて御説明いたします。

2ページ、3ページになります。位置図及び付近図となっております。

こちら計画地は、JR常磐線の東側及び県道43号茨城岩間線の南側に位置する場所となっております。

続いて、4ページが土地利用計画図となります。

続きまして、5ページ、6ページが事業計画図となります。平面図及び立面図となっております。

続きまして、7ページが申請地及び隣接地の公図と隣接地の状況を記載した公図の写しとなります。

続いて、8ページが申請地の登記簿となります。

続いて、9ページ、10ページが隣接の筆の所有者の同意書となります。

続いて、11ページから15ページが代替地の検討書及び関連の資料となっております。こちらは、申請者において土地を所有しておらず、先ほどの理由と同じにはなるのですが、祖母及びおじの土地の所有を検討しましたが、建てるスペースがないとの理由により用地が見つからなかったという理由で、今回の当該の申請地の所有者に承諾が得られたため、当該の申請地を選定しております。

続いて、16ページが委任状となっております。

最後に、17ページから22ページが農振農用地区域の図面及び現地の確認の写真となっております。御確認いただければと思います。

今回の事業計画地につきましては、農振農用地区域の縁辺部にあることを確認しております。

また、農振除外の6要件についてですが、今回の除外につきましては、申請地は、ほかに代替すべき土地がない。地域計画内で担い手が特定されておらず、また確保も見込まれていないことから、地域計画の達成に支障を及ぼさない。農振農用地の縁辺部にあるため、変更後の農用地区域の連担性が保たれる。農地の集団性が損なわれるおそれがないことから、担い手に対する利用の集積に支障を及ぼさない。申請地は土地改良事業の区域外

である。

以上のことから、要件を全て満たしていることを確認しております。

説明は以上となります。よろしくお願ひいたします。

○議長（永田良夫君） 続きまして、番号の3について、議席番号3番、13番委員より調査報告を願ひます。

○13番（山口忠栄君） 調査番号3番につきまして、調査結果を御報告いたします。

5月25日に指名調査委員及び推進委員と現地調査を行いました。

申請地は、岩間駅から岩間消防署に向かい、県道145号上吉影岩間線と県道43号茨城岩間線の交差する十字路から平地内に向かって第一東宝ランド地内を超えて、地区界から100メートルぐらい行ったところの右側の土地です。

事業計画では、自己住宅建設のためでございます。除外をした場合の農用地の集団化への影響は、小面積のため影響は少ないと思います。共同施設等の影響は、共同施設がないため影響はないと思います。農地集積への影響は、小面積のため農地集積への影響は少ないと思います。計画面積については、形状、配置等から判断し、必要最小限の面積と考へます。

事業計画どおり実施した場合、付近の農地への影響は、雨水は敷地内自然浸透で、隣接地への日照、通風、騒音については、ないと思います。隣接地への土砂の影響は、ブロック3段積みを行うそうです。

以上の調査結果から、農用地区域から除外することに、やむを得ないと判断いたしますので、よろしく御審議くださいますようお願いいたします。以上です。

○議長（永田良夫君） 御苦労さまでした。

お諮りいたします。

ただいまの説明及び報告について、何か御意見ございますか。

○5番（伊藤孝洋君） これも、真ん中にあっても縁辺部という見方をするのですか。こちら辺がちょっとクエスチョンかなと思うのですけれども。1ページか。

○農業委員会農政課係長（川上智昭君） 泉のところになりますか。

○5番（伊藤孝洋君） 泉のところ。

○農業委員会農政課係長（川上智昭君） 泉の今回の当該地につきましては、角というわけではないのですけれども、農振農用地区域としては一番端側、外れ側とにあるということで、縁辺部というような考え方になっております。

○5番（伊藤孝洋君） 分かりました。

○議長（永田良夫君） そのほか御意見ございますか。

7番。

○7番（入江保夫君） 今、伊藤委員からの関連なのですけれども、縁辺部というのは、連担、ずっとつながっている、脇に道路があれば縁辺部という形になるのですか。今後、

いろいろ出てくると思うので、そこの定義づけだけは、明確にしておいたほうがいいと思うのですが。

○農業委員会農政課係長（川上智昭君） 道路という形でも、細い道路であったりとか、またそこによっても、農地の集団性といえますか、そういったところでも一部変わるところはあるかと思いますが、今回のところにつきましては、農振農用地区域のちょうど境の部分での道路での境というところになってきますので、そちらについては、縁辺部という考え方になっております。

集団性としては、そこを抜いた場合であっても、その他の土地でつながるような形になりますので、集団性は損なわれないというような見方をしております。

○議長（永田良夫君） 暫時休憩といたします。

午後 3 時 15 分休憩

午後 3 時 19 分再開

○議長（永田良夫君） 休憩を解き、会議を再開いたします。

そのほか意見はございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田良夫君） 直ちに、お諮りいたします。

議案第 7 号 農業振興地域の整備に関する法律施行規則第 3 条の 2 第 1 項の規定による農業振興地域整備計画変更認可に係る意見集約について、番号の 1 については、農用地区域に編入することは適切ということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田良夫君） 異議なしと認め、番号の 1 は、農用地区域に編入することについて適切ということで決定されました。

次に、番号 2、番号 3 については、農用地区域から除外することは、やむを得ないということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田良夫君） 異議なしと認め、番号 2、番号 3 は、農用地区域から除外することについて、やむを得ないということで決定されました。

それでは、農業振興地域の整備に関する法律施行規則第 3 条の 2 第 1 項の規定による農業振興地域整備計画変更認可に係る当農業委員会の意見について、事務局より説明願います。

暫時休憩とします。

午後 3 時 22 分休憩

午後 3 時 26 分再開

○議長（永田良夫君） 休憩を解き、会議を再開いたします。

○農業委員会事務局長補佐（島田耕一君） 先ほど御説明ありました、まず農業振興地域整備計画の変更に係る意見についてですが、まず最初に、土地改良の編入につきましては、農地区分、第一種農地として、利用目的は土地改良区域への編入。

当委員会の意見としましては、申請書に記載された利用の目的、申請事由、周辺の状況等から、本農地の編入は適当と判断したということで回答をさせていただきたいと思いません。

次に、随分附事業計画のところになります、そちらは利用目的が自己用住宅兼事務所、資材置場ということで、農地区分は第一種農地。

当委員会の意見としましては、申請地は第一種と判断され、転用は原則不可であるが、農地法施行規則第33条第1項第4号の規定により、申請に関わる土地の周辺において事務所、作業所を有し、業務上、必要な施設で、集落に接続して設置されるものとして、不許可の例外規定に該当することから、本農地を選定し、申請することがやむを得ないと認められ、農地法許可基準の許可見込みがあると判断したという意見で回答をさせていただきたいと思いません。

次に、泉、巴川の申請箇所ですが、こちら利用目的、自己用住宅で、農地区分が第一種農地。

当委員会の意見としましては、申請書に記載された利用の目的、申請事由、位置等から判断しまして、本農地を選定し、申請することがやむを得ないものと認められるとともに、農地法許可基準の許可見込みがあると判断したという意見で回答をさせていただきたいと思いません。以上です。

○議長（永田良夫君） お諮りいたします。

ただいまの説明について、何か御意見ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（永田良夫君） それでは、事務局の説明のとおり農政課へ意見書を提出します。

ここで農政課職員が退席しますので、暫時休憩といたします。

午後3時28分休憩

午後3時29分再開

○議長（永田良夫君） 休憩を解き、会議を再開します。

報告第1号 農地法第18条第6項の規定による通知について

○議長（永田良夫君） 日程第10、報告第1号 農地法第18条第6項の規定による通知について、事務局より報告願います。

○農業委員会事務局長（福嶋 猛君） 報告第1号 農地法第18条第6項の規定による通知について、報告いたします。

議案書につきましては、25から30ページになります。

番号50は、当該農地の耕作をやめるため、合意を解約するものです。

番号51は、所有権移転を行うため、合意を解約するものです。

26ページになります。

番号52、53は、規模縮小のため、合意を解約するものです。

27ページになります。

番号54、55は、当該農地の耕作をやめるため、合意を解約するものです。

28ページになります。

番号56から30ページの番号60までにつきましては、道路用地として買収のため、合意を解約するものです。

30ページ、番号61は、耕作者が体調不良のため、合意を解約するものです。

報告については、以上でございます。

○議長（永田良夫君） 以上で、報告第1号 農地法第18条第6項の規定による通知についてを終わります。

報告第2号 農地改良行為事業協議書に対する調査の結果報告について

○議長（永田良夫君） 日程第11、報告第2号 農地改良行為事業協議書に対する調査の結果報告についてを議題といたします。

番号の14について、議席番号7番、16番委員より調査報告を願います。

○16番（大橋正義君） 番号14について報告します。

5月22日、調査委員2名と申請人立会いの下、現地調査をしてきました。

場所は、国道50号線近くのパチンコ東大笠間店の反対側の土地でした。

申請理由は、低地解消のため、畑に約580立方メートルの土を盛りたいとのこと。完了後は、自家消費の栗を栽培するとのこと。

周辺については、北と南と西側が道路で、東側は宅地で、周囲への影響はないと思います。以上です。

○議長（永田良夫君） 御苦労さまでした。

番号の15について、議席番号6番、12番委員より調査報告を願います。

○6番（柳橋 泰君） 番号15につきまして、調査の結果を御報告いたします。

5月23日、調査委員2名により届出人の代理人立会いの上、現地を調査を行いました。

届位置は、笠間市役所岩間支所前の道路を北に500メートルほど行ったところの交差点を左に少し入ったところで、申請人自宅の隣接地です。

本案件の事由は、水稻作付のできない休耕田を埋立てにより畑にするというものです。埋立て用の土は、笠間市下郷泉地内の市の道路改良工事から発生した建設残土です。

盛り土等の関係書類は整っています。盛り土は地表従前より50センチから90センチ高くするもので、南側と西側に面したところは道路と同じ高さ、東側道路に面したところは道路より20センチ低く盛り土し、また、北側水路に面したところは、のり面とすることで、道路、水路に影響ないものと見てまいりました。埋立て後は、ダイコン、ネギを作付する計画です。

以上の調査結果から、農地改良することに問題はないと判断いたしますので、よろしく御審議くださいますようお願いいたします。以上です。

○議長（永田良夫君） 御苦労さまでした。

以上で、報告第2号 農地改良行為事業協議書に対する調査結果報告についてを終わります。

報告第3号 農地改良行為事業完了届に対する調査の結果報告について

○議長（永田良夫君） 日程第12、報告第3号 農地改良行為事業完了届に対する調査の結果報告についてを議題といたします。

番号の2について、議席番号7番、16番委員より調査報告願います。

○16番（大橋正義君） 番号2について報告します。

5月22日、調査委員2名と申請人立会いの下、現地調査をしてきました。

場所は、先に申請があった農地改良行為事業協議14番の案件の中の土地です。計画どおり低地解消がなされていきました。完了後は、自家消費のための粟を栽培するとのことでした。以上です。

○議長（永田良夫君） 御苦労さまでした。

番号3について、議席番号3番、13番委員より調査報告を願います。

○3番（青木勝照君） 番号3につきまして、調査結果を報告いたします。

5月25日、指名調査委員及び推進委員と現地調査を行いました。

届出地は、国道355号線と県道145号上吉影岩間線との交差点から堅倉方面に向かって100メートルぐらい行った左側の土地です。

届出地については、届出どおりに改良工事が完了し、作付計画どおりにブドウが作付されていたことを確認してまいりましたので報告いたします。以上です。

○議長（永田良夫君） 御苦労さまでした。

以上で、報告第3号 農地改良行為事業完了届に対する調査の結果報告についてを終わります。

閉会の宣言

○議長（永田良夫君） 以上で提出議案の審議は全て終了いたしました。
これにて令和6年第5回笠間市農業委員会定例総会を閉会といたします。
御苦労さまでした。

午後3時36分閉会

会議規則第15条の規定により署名する

議 長

17番 委 員

18番 委 員